

## 2 広報・参加申込み

### (1) 広報の時期・方法・内容

イベントへの関心を高め、多くの人々の参加を促すためには、イベントの内容等を効果的に伝えることが大切です。

#### ① 時期・方法

- イベント開催前には、十分な周知期間を設けましょう。
- イベントに関する事前情報は、誰もが知ることができるよう、**インターネットを活用**し、また、できるだけ複数の情報伝達手段（ポスターやチラシ、新聞などの媒体だけでなく、点字版、音声版、拡大文字版、多言語版、ラジオや音声コード）を使用することを検討しましょう。

##### ☑ インターネット

インターネットは、特に、外出が困難な障害者や高齢者にとって、重要な情報源となっていますので、必ず活用するようにします。

※ホームページ作成の際の視覚障害者への配慮については、4-6 ページ参照

##### ☑ ポスター・チラシ

文字の大きさや配色などに留意しましょう。

※「当日配布する資料等：4-5～4-6 ページ」参照

#### (解説) 音声コード (SPコード) とは？

音声コードとは、視覚障害者の情報支援ツールとして開発されたもので、紙に掲載された文字情報を、音声化できるデジタル情報に変換した二次元コードのことです。

音声コードの読上げは、専用の機器で行います。また、アプリケーション「Uni-Voice」でも読み上げることができます。



音声コード



読上げ装置

#### 【県庁職員の方へ】

配布されている端末に、アプリ「Uni-Voice」をインストールするときは、各所属の承認を得てください。(許可申請は不要です)

## ② 内容

- 次のような内容を周知しましょう。
  - ☑ 問い合わせ先、電話番号、FAX番号、メールアドレス等
  - ☑ 会場までのアクセス情報（参考1）
    - ※チェック項目は、「会場までのアクセス：3-1 ページ～」参照
  - ☑ 当日実施する各種サービスの情報（参考2）
  - ☑ 身障者用駐車場やバリアフリー情報及びベビーカー置場や託児コーナー、通訳の有無などの情報を入れた会場案内図
  - ☑ 屋外イベントは、荒天の場合の情報（決行・順延・中止）

（参考1）提供するアクセス情報の内容の例

### ○ 公共交通機関・徒歩の場合

- ◇ 最寄りの公共交通機関の路線
- ◇ 最寄り駅のトイレ、エレベーター設置の状況
- ◇ 主要駅及び会場付近の発着場所
- ◇ 運行表
- ◇ その路線での低床式バス（ノンステップバス）運行の有無
- ◇ 主要駅と会場間の運賃、所要時間

### ○ 自家用車の場合

- ◇ 高速道路のインターチェンジや主要道路からの進行ルート、所要時間
- ◇ 実施期間における交通規制、渋滞、工事中的場所
- ◇ 駐車場周辺の道路案内
- ◇ 会場周辺の駐車場案内

（参考2）各種サービスの例

- ◇ 多機能トイレの有無、また、その設備（ベビーベッド、オストメイト、手すりなど） ⇒ 多機能トイレについては、4-18 ページ参照
- ◇ 駐車場・駐輪場の有無（台数、身障者用駐車スペースと屋根の有無、有料・無料の別） ⇒ 身障者用駐車場については、3-2 ページ参照
- ◇ 授乳室や託児サービス、オムツ換えのスペース、車いす・ベビーカー貸出の有無 ⇒ 託児・授乳スペースについては、4-20 ページ参照
- ◇ 手話通訳・要約筆記者や外国語通訳の有無  
⇒ 手話通訳・要約筆記については、4-12 ページ参照
- ◇ 点字、拡大文字、外国語などの資料 など

## (2) 参加申込みの方法・内容

参加者の特性や希望を把握し、対応できるよう準備します。

### 対応方法

- 事前に参加申込みを受ける場合
  - ☑ あらかじめパンフレット等に「手話通訳や託児サービス、車いす席等の**要望があれば事前に連絡願います。**」と明記しましょう。
  - ☑ 手話通訳や託児サービス、車いす席など提供するサービスを記載し、**希望するものについてチェックする欄**を設ける方法もあります。
  - ☑ 郵送だけでなく、FAX、電話、メールなど、広報同様に複数の手段により受け付けるようにします。
- 申込み不要のイベントでも、どのような参加者が見込まれるのか想定し、対応できる配慮事項・サービスや実施の方法を検討します。

### 【参加者の特性に応じて検討するサービス例】

手話通訳、要約筆記、外国語通訳、点字資料、拡大文字資料、  
 車いす席、身障者用駐車場、託児サービス（ 歳児 人）、  
 車いす貸出、ベビーカー貸出 など

職員の気づき

**(2) 参加申込みの方法・内容**

- イベントの参加申込時に、希望するサービス等を記載いただいた。参加者の特性や対応方法について主催者側があらかじめ想定・準備できたため、当日の運営で混乱することはなかった。
- スロープやエレベーターがない建物で研修会を開催した際、事前に車いすの方が来られることを知っていたので、階段の上り下りを手伝うことができるよう、スタッフ数人を配置した。
- 子育て関係のイベントは、健常児を想定していることが多く、車いすや双子用バギーが通らなかったり、段差が多かったりする。障害児への対応も考えてもらえると、親も助かる。

